



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和7年1月8日
文責：校長 江上 知男

あけましておめでとうございます

令和7年の幕が開きました。天候に恵まれ、とても暖かいお正月でした。また、昨年のように「自然災害」等がない、平和な冬休み期間だったように感じました。子どもたちにとっても、「貴重な時間」だったのではないかと思います。

保護者並びに地域の皆さま、本年もどうぞよろしくお願い致します。新しい年が、皆さまにとって素晴らしいものとなりますよう、心から祈念いたします。

さて、1月8日（水）は、本校の3学期始業式でした。残念ながら感染症対策のため、リモートによる始業式となりましたが、子どもたちの元気な顔を見ることができ、職員一同「新たな学期に向かう気持ち」が高まったところです。冬休み期間、子どもたちの安全・安心な生活に気を遣っていただき、心から感謝いたします。

「学年のまとめ」である3学期の始業式の中で、4年生の代表が「3学期に頑張りたいこと」を発表しました。とても落ち着いて、内容がある発表でした。また、校長からは次のような話をしたので、紹介します。



やったげ隊作「門松」

児童代表【3学期に頑張りたいこと（抜粋）】

- 持久走で昨年を超える・1/2成人式で感謝を親に伝える・5年生をめざし勉強や生活面を高める
- 学習面で算数の計算違いをなくす・生活面で外遊びを頑張る・下級生に目標にされる5年生になる
- 読書年間60冊を達成（あと20冊）・聞きやすい早さの音読・しっかりまとめをして5年生へと成長する

校長からのお話【3学期の目標】

3学期に学校全体で大切にしたいことです。「気付き、考え、行動する」の中の「行動する」です。特に大切なのは、「自分で決めて行動すること」です。自分で決めないと行動し続ける力は湧きません。

大切な3学期が終わるときに、「自分で決めたことをやり通すことができた」という振り返りができるようにチャレンジしましょう。そして、「自分が変わったところ」を言葉で言えるようにしましょう。

＜冬休み中の出来事＞

冬休み中に、初めて教師になった38年前に担任させてもらった子どもたちが「クラス会」を催してくれました。子どもたちと言っても、今は48歳のおじさん・お婆さんたちです（笑）。その中で、恐る恐る「江上ってどんな先生だった？」と聞いてみました。

最初に出てきたのは、「怖かった～！！」という言葉。「きまり守らんと、もの凄く叱られた」「怒ったときの目が、本当に恐ろしかった」「言い訳は、絶対に許してくれなかった」などなど、口々に自分の思い出を話し始め、大盛り上がりでした。私が「ごめんごめん、まだ未熟者だったね～」と謝ると、みんなは慌てて、今度は急にたくさん褒めてくれ出しました。さすが大人の対応です。

そんな中で、「私は江上先生にあいさつの力をつけてもらった。社会人になって、すごく助かった」と言ってくれた人がいました。「へー、どんなときにそう思ったの？」と聞いてみると、「先生がいつも『あいさつは思いを届けること』と言っていたことをずっと覚えていて、面接の試験や初めて人と会うときいつも思い出していた。自分の子どもにも、同じことを言っている」と教えてくれました。

とても嬉しかったのと同時に、「やっぱり『相手意識を持ったあいさつ』ができることは、人として、社会人として生きていくのに必要な力なんだ」と、改めて教えられた気がしました。